

8102 沢木医師が布由子をともなって小峰家を・・・

沢木医師が布由子をともなって小峰家を訪れたのは、それから二週間のどたった日曜日の午後だった。波留子あらかじめ電話で連絡を受けていたので、夕食の支度のための買い物をすませ、部屋を掃除して布由子の帰りを待っていた。

「しばらくです。」

自分でフォルクスワーゲンを運転してやってきた沢木医師は、布由子の肩に手をかけて玄関で挨拶した。

五木寛之『四季・波留子』

〔許容訳例〕

It was one Sunday afternoon two weeks later that Dr. Sawaki visited the Komines with Fuyuko. Haruko had been informed over the phone beforehand, so she was ready for Fuyuko's return, having shopped for dinner and cleaned the room.

“It's a long time since I saw you last.”

Dr. Sawaki, who had come driving his Volkswagen, greeted her at the front door, with his hand on Fuyuko's shoulder.

〔翻訳例〕

It was on a Sunday afternoon two weeks later that Dr. Sawaki visited the Komines bringing Fuyuko with him. Haruko, who had been warned in advance by telephone, had done the shopping for dinner and cleaned the room in readiness for Fuyuko's homecoming.

Dr. Sawaki arrived driving his Volkswagen.

“Nice to see you again,” he began, standing in the hallway with his hand on Fuyuko's shoulder.

■沢木医師が布由子をともなって小峰家を訪れたのは、それから二週間ほどたった日曜日の午後だった。(8102)

★「沢木医師」は Dr. Sawaki です。

★「布由子をともなう」は bring Fuyuko with him です。with Fuyuko (布由子と) では少し弱いように思われます。ただ、with を使うなら、ちょっと変わった言い方で with Fuyuko in now とすることもできます。in now は「引っ張って」という意味です。なお、辞書には「伴う」に be accompanied[attended] by が出ています。be accompanied by は使えますが、be attended by は「付きそう」によく使いますから、実際には「沢木医師が布由子に付きそつて」であっても、後に出てくる「しばらくです」という挨拶から判断すると、また違う事情が考えられますので、ここで強いて使わなければならぬ理由はないと思われます。

★「小峰家」は the Komines ですが、the Komine's home[house] としてもいいでしょう。なお、the Komines には「小峰夫妻」の意味もありますが、「訪ねた」なら「小峰家」でしょうし、「会った」なら「小峰夫妻」でしょう。ついでですが、the Komines, large and small と

いう言い方もあります。「小峰一家」です。

★「訪れた」は visited です。

●「布由子をともなって訪れた」は典型的な「……して……した」です。英語では「主動詞(visited) + 句(bringing...)」で表すことができます。

★「それから二週間ほどたった日曜日の午後」は one[on a] Sunday afternoon two weeks later あるいは two weeks later on a Sunday afternoon です。later の中に「あれから・それから」が含まれています。

◆it…that の強調構文

「沢木医師が……したのは……だった」ですが「……のは」にとらわれずに、Dr. Sawaki visited…one[on a] Sunday afternoon two weeks later としてもいいですが、「……したのは……だった」ですから It…that…の強調構文を使って、It was one[on a] Sunday afternoon two weeks later [two weeks later on a Sunday afternoon] that Dr. Sawaki visited the Komines bringing Fuyuko with him. とするのが一番いいでしょう。ところで、辞書や文法書には「It is[was]…that[who, which, when, where]…」の形式で、文の主語、動詞・前置詞の目的語、副詞(句)を強調する」と説明がしてあります。上の文で強調するのが「時の副詞句」(on a Sunday afternoon two weeks later)なので、that の代わりに when が使えるかどうかという問題が生じます。たとえば、

It was after midnight when he arrived there. (彼がそこに着いたのは真夜中すぎだった)

は、確かに強調のようですが、この It は、たとえば、

Today is Sunday. → It is Sunday today.

Today is warmer than yesterday. → It is warmer than (it was) yesterday.

などに使われる impersonal 'it' であり、たとえば、

I think that was the time when I lost all my money.

I saw the film last year, when I was in Paris.

We visited the town where I was born.

などに使われている when; where は関係副詞です。関係副詞は the time when…; the season when…のように「どういうとき、どういう季節」とはっきりしていないといけないです。たとえば、

It was summer when we first met. (僕たちが最初に出会ったのは夏だよ。)

のように、この構造は、たしかに強調構文と同じように見えますが、重要なのは、情報文法の観点から言うと、この関係副詞節（で示される情報）は「了解・既知情報」でなければならぬということです。その点、It…that…の強調構文の that 節にはそのような束縛はありません。したがって、「沢木医師が布由子をともなって小峰家を訪ねた」はここで初めて出てくる情報なので、*It was one[on a] Sunday afternoon two weeks later when…とは言えないのです。

■波留子あらかじめ電話で連絡を受けていたので、夕食の支度のための買い物をすませ、部屋を掃除して布由子の帰りを待っていた。（8102）

★「あらかじめ」は beforehand か in advance です。

★「電話で」は、ここでは伝達の手段を言っているのですから by phone か over the phone です。on the phone は使えません。これは in the course of the telephone conversation という意味の場合が多く、He told me on the phone./ He said it on the phone. というと「電話で話している途中で」という意味になります。

★「連絡を受けていた」は be informed の他に be warned も使えます。warn は「警告」と訳されますが、必ずしも悪い内容ではなく、「予告」でもいいのです。なお、厳密に言うと warn を使うと「あらかじめ」という副詞は不要になるのですが、日本文の中に「あらかじめ」という言葉があるので、加えておきましょう。

● [ので]

「連絡を受けていた [ので]」の [ので] は Haruko had been informed…, so…でいいのですが、Haruko, who had been warned… in advance, …とすると、英語らしい表現になると思います。

★「夕食の支度のための買い物をする」は「夕食（の支度）に必要なものを買う」ということで、to shop for dinner という決まった表現があります。わざわざ「支度のため」(for the preparation of….)を入れる必要はありません。

★「買い物をすませる」は do the shopping です。finish shopping は「途中で買い物をやめないで最後の最後まで shopping をする」という意味です。こでは使えません。

★「部屋の掃除をする」は、家全体の部屋ではなく布由子が留守にしていた彼女の部屋と考えられるので、単数で clean the room とします。

★「布由子の帰り」は Fuyuko's return あるいは Fuyuko's homecoming です。退院して帰るとか家出していて連れ戻されるとかの場合には homecoming がぴったりです。

★「（布由子の帰りを）待っていた」は、そのまま訳すと waited for Fuyuko's homecoming [for Fuyuko to return [come home]]ですが、これですと、「今か今かとじっと待っていた」という意味になります。ここはそういう意味ではなく「（帰宅に）準備万端整えていた」ということですから be ready for あるいは in readiness [preparation] for…を使うのが適当と考えられます。

● {単位情報} の配列

この日本文は「・・・ので、買い物をすませ、掃除をして、待っていた」で、日本語では、普通、最後に置いてある動詞に比重が懸かります。英語では主語の次に出てくる時間との関係を決める主動詞に比重を懸けるので、そのまま訳すと…, so Haruko was waiting for Fuyuko to return[come home],…となり、「連絡を受けたので待っていた」という論理展開を表現することになります。しかし、日本文から受ける印象は、そのような論理展開ではなく、とは「待っていた」に比重が懸かっているのではなく、布由子が帰って来るというので、単に「A し, B して, C していた」と動作の順を述べているに過ぎないような感じなので、「待っていた」(was waiting for…)を前に置くとバランスが崩れてしまいます。むしろ、ここでは動作の順序 (A し, B して, C した) が重要であるような感じがします。それで、She had done something and had done something in readiness [preparation] for…とした方が日本語に近いように思われます。{単位情報} は動詞がどんな形（述語動詞・準動詞・名詞句化動詞(e.g. his knowledge of it) であれ、{単位情報} そのものの比重は同じで、配列・連結辞・言語習慣によって比重が変わるので、ここは情報順に同じ比重になるように工夫を凝らせばよいのではないかでしょうか。

■ 「しばらくです。」(8102)

★「しばらくです」は、It's a long time since I saw you last.でもいいのですが、はたしてこれが一番自然な言い方かとなると、そうではないように思われます。概して、こういう挨拶の時、日本語では negative な言い方をしますが、英語では positive な言い方をします。たとえば、「お待たせしました」という意味で“Here I am.”という言い方をするのです。ですから、ここも“Nice to see you again.”とした方が自然です。また、しばらく会っていないのでなければ普通 again を入れませんから、これを入れることで「しばらくです」という意味が出来ます。

■自分でフォルクスワーゲンを運転してやってきた沢木医師は、布由子の肩に手をかけて玄関で挨拶した。(8102)

★「自分でフォルクスワーゲンを運転する」は drive his Volkswagen (for himself)でいいでしょう。The にすると「沢木家で使っている例のフォルクスワーゲン」という意味になります。

★「やって来た」は came でも arrived でもいいですが、came here とする必要はありません。

● 「連体修飾節+特定体言」(自分でフォルクスワーゲンを運転してきた沢木医師)

これは「連体修飾節+特定体言」ですから、英語では「特定名詞+コンマ関係詞節」Dr. Sawaki, who had come driving his Volkswagen, greeted her…で処理することになります。なお、分詞構文(having come driving his Volkswagen, Dr. Sawaki greeted her….)を使うことも可能ですが、どれを使うかは、前後の関係で決まります。

★「布由子の肩に手をかけて」は putting his hand on Fuyuko's shoulder にすると「挨拶す

ると同時に「した後に」肩に手をかけた」という動作を伝えることになります。普通、このような状況は「同時」を表す *with* を使って、*with his hand on Fuyuko's shoulder* とします。

● [で] (玄関で)

「玄関で」は、普通、「場所を表す副詞句」として「玄関の中に入っている」なら *in the hall*[hallway]、まだ外にいて中に入っていないなら *at the front door* として処理します。日本語としてはそれでもいいのです。「布由子の肩に手をかけて玄関で・・・」という日本文を読んで沢木医師が布由子の肩に手をかけて「玄関に立って」とイメージして理解するのが普通です。したがって、[で] は曲者で、単に「場所」を示すだけでなく「動詞+て」の代わりに使われることも多いので、英語に訳す場合には動詞を補わなければならぬのです。たとえば、「彼の部屋は六階[で]、富士山がよく見えます。」を英語に訳す場合、「六階[で]」は「六階にあっ+ [て]」と解さないと英語に訳すことができません。

△His room is on the sixth floor, and you [one] can see Mt. Fuji from there.

○His room, which is [being] on the sixth floor, has a view of Mt. Fuji.

○His room is on the sixth floor, from which you [one] can see Mt. Fuji.

となります。

それで「布由子の肩に手をかけて玄関に立って [立ったまま]・・・」と動詞を補って訳すと自然な英語になります。

★「挨拶した」は *he greeted her* です。Longman の辞書には *salute* は *greet* とイコールになっていますが、それは *with a smile* といった副詞を付けた場合です。ただ、ここで *he greeted her* とするのはちょっとしつこい感じがします。“Nice to see you again”と言えば挨拶に決まっているですから、英語としては *said* か、彼が最初に言ったことばという意味で *he began* がいいです。

● {単位情報} を並べる (直接話法と伝達動詞の関係; 連体修飾節+特定体言の処理)

この日本文を訳すには注意しなければならない点が三つあります。

一つ目は「しばらくです」という直接話法と伝達動詞(挨拶した)の距離が長いこと。英語では *Dr. Sawaki said to her, “Nice to see you again.”* とか “Nice to see you again,” *Dr. Sawaki said to her.* とか、伝達動詞はすぐそばに置かなければなりません。

二つ目は、「連体修飾節+特定体言」(自分でフォルクスワーゲンを運転してやってきた沢木医師)を「特定名詞+コンマ関係詞節」(*Dr. Sawaki, who had come driving his Volkswagen,*)にするか、分詞構文(*Having come driving his Volkswagen, Dr. Sawaki*)にするか。どちらも文法的には可能です。

三つ目は「沢木医師は布由子の肩に手をかけて玄関で挨拶した。」を「沢木医師は布由子の肩に手をかけて玄関で言った。」と変えて、それを「主動詞+句」(*Dr. Sawaki said to her, standing at the front door with his hand on Fuyuko's shoulder.*)と処理します。

これわの三つを日本文に合わせて並べることになりますが、日本文では「しばらくです」が先頭になるので、一つ目から “Nice to see you again,” *said Dr. Sawaki.* を選択します。次に、

Dr. Sawaki には「特定名詞 + コンマ関係詞節」(Dr. Sawaki, who had come driving his Volkswagen,)が連結しやすいので, “Nice to see you again,” Dr. Sawaki, who had come driving his Volkswagen, said to her とします。それに standing at the front door with his hand on Fuyuko's shoulder.)を加えて

“Nice to see you again,” Dr. Sawaki. who had come driving his Volkswagen, said to her, standing at the front door with his hand on Fuyuko's shoulder.

と変換します。翻訳例では、さらに工夫を加えて

Dr. Sawaki arrived driving his Volkswagen.

“Nice to see you again,” he began, standing in the hallway with his hand on Fuyuko's shoulder.

となりました。

これわの三つを日本文に合わせて並べることになりますが、日本文では「しばらくです」が先頭になるので、一つ目から“Nice to see you again,” said Dr. Sawaki. を選択します。次に、Dr. Sawaki には「特定名詞 + コンマ関係詞節」(Dr. Sawaki, who had come driving his Volkswagen,)が連結しやすいので、“Nice to see you again,” Dr. Sawaki. who had come driving his Volkswagen, said to her とします。それに standing at the front door with his hand on Fuyuko's shoulder.)を加えて

“Nice to see you again,” Dr. Sawaki. who had come driving his Volkswagen, said to her, standing at the front door with his hand on Fuyuko's shoulder.)